



大坂城図（モンターヌス『東インド会社遣日使節紀行』1669年版所収）

モンターヌス『東インド会社遣日使節紀行』には、1649年におけるフリシウスという使節の江戸参府日記が所収され、このフリシウスの日記に、大坂城について極めて詳細な記述がある。フリシウスたちは大坂城代に贈物を献上した際に、大坂城を見物する許可を得ていた。オランダ人は城壁の上に立って、下を見た時に、そのあまりの高さに目がくらんだという。モンターヌスは大坂城を「八番目の不思議」と称している。図の右下に“cum privil. S. C. Mest.”（神聖皇帝陛下の許可を得て）とあるため、本図はイエズス会の出版物から転写されていると推測される。

日文研所蔵外書（解説：フレデリック・クレインズ准教授）